

書塾の仲間たち

第266回

ゆうゆうかい

悠遊会（東京都国分寺市）



●書塾からひとこと●

悠遊会は、書道結社「悠遊筆禅道」内の一サークルとして、平成十四年に発足しました。会員に月刊『書写書道』の購読を勧めたことに端を発して、現在に至っています。

やがて毎月課題を提出する会員や昇段試験にチャレンジするなど熱心に取り組む会員が増え、切磋琢磨のなかで今日まで活動を続けています。

また、会の母体である「悠遊筆禅会」は、故寺山旦中師による教導のもと、「形や技巧にとらわれたうまい字を書こうとするのではなく、まずは身体と精神を整え（座禅や呼吸法など）、自らの内面と生活を純化して、生き方と人間力を磨き高めることで、清く澄み切った線や活きた深みのある書を目指し導ぶ」という目的を掲げて活動しています。

毎月の競書出品のほか、隔年で合同の展覧会である「悠遊筆禅・きずな展」を開催し、精進と交流を深めてきました。また、昨年十一月には八日間、東南アジア・ラオスにおいて書道研鑽と交流の旅が叶いました。

今回の旅では東芝財団からご支援もいただき、悠遊の道志十名で、「世界平和」という命題を掲げての研鑽の旅となりました。同国の中学校や国立大学、国立美術大学、女子美術大学、職業訓練校など六カ所を巡り、二百名の学生・教師方に、半切に「平和」と大筆で書いていただきました。

訪問先の皆さまが初体験の日本の書道に真剣に取り組まれていて、作品の講評会も一点ずつ行うなど大盛会でした。今回もさらに瞳を輝かせる学生たちとの熱い国際交流を果たすことができたことを心から嬉しく思っています。

悠遊会 稲田 盛穂（雅子）

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

うの花の
におう垣根に時鳥
早もきなきて心音もらす
夏は来ぬ

中学三年
高六一般
現役級
級
段
氏名
櫻井 智彩



私が感じる書道の楽しさ

聖心女子学院高等学校一年 櫻井 智彩

私は小学校二年生の時から書道を習っています。小学生の時は、「学校から帰った後に毎週書道教室に行かないといけないのは大変だな」という気持ちもあったのですが、これまでに約八年間書道を続けてきて今は書道の習慣が体に染みつき、「何か書きたい」という衝動に駆られるようになりました。

私が書道をやっていて楽しいと思うところは、同じ文字であっても書く人によってさまざまな雰囲気、作品になるところです。毎月異なるお手本の作品は、書かれる先生によって字の太さや大きさ、強弱、字と字の流れ具合、作品全体の雰囲気、余白の空け方など表現の仕方が全く違い、私はそこが書道の魅力ではないかと感じています。大きく、太く、迫力のある作品を書く方もいれば、細く、滑らかに流れるように書く方もいて、どのように文字を表現するのか、自分が自由自在に選択して書くことができることがとても楽しいです。

将来、私は留学したいと思っています。留学するためには、日本の文化について知っておく必要があると思います。日本の伝統文化の一つである書道を習っていることで、私は留学先でも海外の方に書道の魅力を伝えることができると思います。これまでの書道の経験が留学先でも生きてくるのだと思うと、約八年間書道を学んできて本当に良かったです。何よりも今まで指導してくださった先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

高校生になると、日本の古典や草書も本格的に勉強していくと思います。中学生まで培ってきた書道の基礎を土台に高校でも多くのことを学び、さらに上達できるように日々努力を忘れず励もうと思っています。

私と書写書道 第266回

梅が香に
のつと日の出る
山路かな

一松尾芭蕉

中学三年
高六一般
現役級
級
段
氏名
橋詰 美奈



字を丁寧書くことの大切さを証明したい

大阪府大阪市立今津中学校三年 橋詰 美奈

私は小学一年生の時に母に勧められて書道を始めました。それまで字を丁寧に書くことにあまり関心がなく、どちらかといえば雑に書いていたが、書道教室の先生に教わるようになって、日頃から丁寧に書く、ということが意識するようになりました。昔から手紙や絵など「かくこと」が好きだったため、書写検定を受けるなど熱心に続けてきました。

しかし、中学二年生の夏に、友達から「習字を習っているわりにあまり字がきれいじゃないよね」と言われ、それが悔しくて「もっと上手になりたい、きれいな字を書きたい」という向上心が芽生え、これまで以上に字を丁寧に書くことを心掛けた結果、行書を勉強して書写検定三級に合格することができました。それから「字がきれいだね」と言われることが増え、今では私の誇れる長所のひとつに挙げられるようになりました。

「字を書く」ことは私の趣味にもなりました。今は好きな曲の歌詞を、その曲を聴きながらノートに書写することにはまっています。一文字一文字、丁寧に書いていると歌詞の意味が読み取れたり、心が落ち着いたりすることがとても楽しいです。

機械化が進み、簡単に文字が入力できるようになり、字を書くという機会が少なくなっている時代の中で、「習字なんて習っていて何の意味があるの?」と言われることがよくあります。確かに意味がないと思う人もたくさんいると思います。それでも字を書く機会が全くないわけでもなく、音楽やスポーツと同じように大切なことはいくらでもあります。書道を習っている者としてそれを証明しながら、今後も「字を書くこと」、書写書道に向き合っていきたいと思っています。